

笑顔はじける

団地TOPICS

さまざまな団地で行われた イベント活動をお知らせします。



多彩な屋台と盆踊りで盛り上がる 地域で恒例の夏祭り 新豊里(大阪市東淀川区)

7月27日、新豊里団地で第43回豊里夏祭りが開催され、団地内外合わせて約1000人が参加しました。会場中央広場の屋台エリアには、たこ焼きやかき氷などの食べ物と金魚すくいなどのゲームの出店が10軒以上並びました。日暮れかけた19時からやぐらを中心に盆踊りがスタート。団地の敷地内にある保育園の園児たちが登場し、この日のために一生懸命練習した振り付けで元気いっぱい踊り始めると他の子どもたちも集まってきてやぐらの周りに大きな

な円ができました。20時からはやぐらの上に浮音家一行が登場し、江州音頭や河内音頭などを生演奏と生歌で披露。軽快な音楽とキレの良い踊りで夜が更けていきました。夏祭りを主催する自治会長久田能久さんは「夏祭りを通して、団地周辺の住民や普段は離れて暮らす家族と交流ができます。団地の皆さんに喜んでいただける限りはこれからも続けていきたいです」と語っていました。



1.「楽しみつつ、マナーは守ろう」ごみ箱を背負って会場を歩き回る役員。子どもたちは遊び感覚でごみを入れます 2. 子どもも大人も一緒に楽しく踊りました 3. 3年前から団地内の保育園の園児が参加するようになりました



盆踊り大会に大阪住まいセンターが初出店 バルーンアートでURをPR 森之宮第2(大阪市城東区)

8月4日、森之宮第2団地広場で森之宮地域活動協議会主催の第48回納涼盆踊り大会が開催されました。地域で長年にわたって親しまれてきたこの盆踊り大会に、今年が初めてURコミュニティ大阪住まいセンターがブースを出店。パフォーマーによるバルーンアートのプレゼントに、訪れた子どもたちや親子連れは大喜びでした。

高齢になっても安心して快適に住み続けられるまちを目指し、城東区や森之宮病院、URが、関係機関・地域活動協議会と共にスマートエッジングの取り組みを行っている森之宮地域。URも地域医療福祉拠点化の取り組みを進めており、これらの取り組みを地域の方々にPRするとともに地域活性化のお手伝いも兼ね、今回のブース出店となりました。ウェルフェア業務課の中居一洋課長は「高齢者に限らず、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる『ミクスコミュニティ』の形成も目的の一つ。若い世代にも『団地』に興味を持ってもらえるような活動を進めていきたい」と意気込んでいます。



1. 動物や剣など、さまざまなバルーンが5分ほどで完成。パフォーマーの鮮やかな手さばきに子どもたちも興味津々 2. 順番を待つ長蛇の列もできました 3. 踊り子さんとも多くの地域住民が参加し、盛り上がりがあった盆踊り

中登美アンバサダーが手がける、夏の風物詩 今年も開催！待ちに待った「夏祭り」 中登美第3(奈良市)

中登美第3団地をこよなく愛する「中登美アンバサダー」が昨年復活させた夏祭りが今年も8月25日に開催されました。大きな鉄鍋で作る本格トマトバスやお豆腐屋さんの豆乳ドーナツ、新鮮な果物からアロマのワークショップまで、アンバサダーの声かけによって集まった出店は実にバラエティー豊か。ビール片手に食べ歩きを楽しむ人、バンド演奏や弾き語りにも耳を傾ける人、昨年も大好評だった「よさこい踊り」に参加する人。昨年以上の人数にぎわう集会所前広場では、団地

や近隣住民の皆さんが思い思いの夏祭りを満喫しました。心地良い夜風が吹き始めた20時。今年から復活した盆踊りが盛大に始まり、「月が出た出た」と定番のフレーズが流れると、夜空にはまんなの満月が。終盤は「ダンシングヒーロー」に合わせて軽快なステップを踏みながら、月明かりのもと、参加者全員で一体感を味わいました。「来年も再来年も、思いをひとつに夏祭りを続けていきたいですね」と、アンバサダーの加来慎太郎さんにもっこり。中登美アンバサダーの今後の活躍も楽しみです。



1. プログラムの締めは今年の目玉「みんなで盆踊り」 2. 「毎年ここで集まるのが楽しみ！」うどん店を切り盛りする「チームトミキタ」は高校時代からの仲良しメンバー 3. 近隣の保育園児の絵が描かれたちょうちんは眺めているだけで笑顔に



歌と手遊びで楽しく健康づくり！音楽療法講座を開催 高見フローラルタウン(大阪市此花区)

6月19日、高見フローラルタウン団地22号棟集会所で第2回音楽療法講座が行われました。講師は京都国際音楽療法センターの指導員を務める国枝聡子先生。昨年開かれた同講座に参加した方からの「もう一度受けたら」といった声に応えて開催され、14人の参加者が集まりました。音楽療法とは、音楽を歌ったり、曲に合わせて体を動かしたりすることで、心身ともに活性化させる治療法の一つです。前半は椅子に座ってお口を動かす運動がメイン。膝下をスムーズに

させるゴクン運動や、決まったフレーズをリズムよく繰り返すパタカラ体操で、あごや唇、舌を鍛えました。後半に入ると、手や体も使った全身運動へ。曲に合わせて両手を入れ替えたり、輪になって数人でお手玉を受け渡したりと、反射神経の衰えをカバーするためのさまざまな運動を行いました。密度の濃い90分は笑顔が絶えず、最後に全員で懐かしの名曲を歌って、あっという間に終わりを迎えました。



1. 輪になって次々にお手玉を受け渡していく参加者の皆さん 2. 手を使った運動は難易度が高く、「上手だね」「私これ苦手かも」と励まし合いながら楽しんでいました 3. 前半に口周りを活性化させたこともあり、参加者全員が大きな声で歌っていました



住居内のちょっとしたアクセントに 壁掛けアート教室を開催 西宮マリナパークシティ丘のある街(兵庫県西宮市)

7月19日、9号棟集会所で「団地伐採木を利用した壁掛けアート教室」を開催。団地にお住まいの小学生から高齢者まで約20人が自分だけの作品づくりに挑戦しました。砂絵キットを使って進められたこの教室。金魚やアサガオなど好みの図柄を選び、手順通りにカラフルな砂をまいていきます。「色が混ざって難しい」という参加者をURコミュニティスタッフがサポートする中「面積が広いところからまけばきれいにできるよ」と参加者同士でアドバイスしあう姿も。完成した

砂絵は、近隣の団地の伐採木を再利用した額縁に貼り付けて完成。参加者からは「かわいらしくできた」と喜ぶ声や「細かい作業が難しかったけど、手先を使って脳が刺激された」といった声も聞かれました。



1. 完成後はお互いの作品の品評会。「お隣の家の子どもにプレゼントします！」 2. 額縁に使われたサワグルミの伐採木。教室を企画したURコミュニティのスタッフは「居住者様に団地内の植栽に親しんでもらえるきっかけとなれば」と話します 3. 教室終了後は西宮市高齢者あんしん窓口のスタッフから相談窓口の概要や、熱中症への対策も紹介されました

便利で快適な住環境に貢献 フィットネス＆コインランドリー施設が開店 千島(大阪市大正区)

暑さ厳しい7月29日、千島団地内にUR賃貸住宅初の試みとなるコインランドリーとフィットネスの融合施設「Quick Dry Fit」がオープンしました。コインランドリーには衣類・靴専用の洗濯機から毛布用の大型乾燥機までそろい、同団地居住者限定で洗濯代行や宅配サービスに対応。高齢者向けの見守りサービスも提供し、子育て中の家族や働き盛りの単身者、シニアまであらゆる世帯の家事負担を軽減できると期待が寄せられています。洗濯の待ち時間には、併設の

フィットネスサロンでの運動がおすすめ。プロ監修のトレーニングが最短15分・ワンコイン500円で受けられ、早速、住民が専門インストラクターの指導のもと体を動かしていました。「ここに足を運ぶことで、住民同士がつながるきっかけになれば」と、同店を運営する(株)アイルの代表取締役・松本広治さん。より良いライフスタイルを提供する話題のスポットとなりそうです。



1. 細やかなニーズに対応した洗濯乾燥機がずらり 2. 見学にやってきましたお客さんも興味津々 3. 15分間で10種類のメニューをこなすサーキットトレーニングで、心も体もリフレッシュ！



竹細工で夏の思い出づくりを 多世代交流イベントを開催 浜甲子園(兵庫県西宮市)

台風が過ぎ、青空が広がった7月29日の夕方。浜甲子園団地の中央広場でURコミュニティ阪神住まいセンター主催の多世代交流・コミュニティ形成支援イベント「竹細工無料体験」が開催されました。竹細工づくりを通じて、地域住民の交流を目指す同イベント。竹はUR団地の敷地内に生えていたものを再利用し、グリーンマネージャーが扱いやすい素材を選びました。当日は団地夏祭りの2日目とあって、たくさんの親子連れが参加。スタートの16時から、あついで

う間に満席になる盛況ぶりでした。子どもたちは貯金箱や一輪車用の竹をスパイクロールやペンなどを巧みに使いながら、真剣なまなざしで飾り付け。この夏に転入してきた中学1年生の女の子は「地域の行事でいる体験できて楽しい」と喜んでいました。隣ではバレーゴルフも行われ、こちらも大にぎわい。カップインする度に参加者らの歓声が沸き上がっていました。子どもたちのキラキラした笑顔が、同団地の活気を表していました。



1. お父さんと一緒に楽しく飾り付け 2. お菓子の景品目指してホールインワン！ 3. 素朴な竹が華やかに大変身

団地スケッチ

郡山駅前(奈良県大和郡山市)

エントランスを彩る七夕飾り

7月2日から7日までの6日間、15号棟エントランスに3本の七夕飾りが設置されました。「将来は医者になりたい」「安全で暮らせるように」といった住民の願い事から、「こんな葉書は詐欺！」といった警察署の啓発短冊まで、バラエティー豊かな短冊が並びます。主催する「公団サロン」の代表者、中川義弘さんは「今年で3回目ですが、高齢者が多くなった団地で交流のいいきっかけにもなっています」と話します。七夕終了後、短冊は近隣の神社で焚き上げられ、願い事の成就を祈願しました。



1. 公団サロンのみなさん 2. 「金魚のまち」らしい飾り付けも

vol.10

団地テナント 気にならるお店

遊びを通して「生きる力」と「思いやりの心」を育む

2018年5月に開園したヤシの木保育園は、スマートフォンのアプリで保護者に随時配信。「写真から園での様子がわかり、安心して子どもを預けられる」と好評だそう。「子どもクッキング」や「スイカ割り」「お月見」などイベントも数多く企画しているヤシの木保育園。「子どもと一緒に公園に行ったりに、工作をしたり、今後は保護者も参加できるような企画を考えていきたい」と郡山さんお話しされています。朝の会から

始まる日々の保育の様子は、スマートフォンのアプリで保護者に随時配信。「写真から園での様子がわかり、安心して子どもを預けられる」と好評だそう。「子どもクッキング」や「スイカ割り」「お月見」などイベントも数多く企画しているヤシの木保育園。「子どもと一緒に公園に行ったりに、工作をしたり、今後は保護者も参加できるような企画を考えていきたい」と郡山さんお話しされています。朝の会から



1 「ハワイの海をイメージした」という外観。「保育所っぽくなくてかわいい」と保護者にも好評です 2 子どもたちに人気のおもちゃスペース 3 約40㎡と広く、明るい保育スペース。常時3~4人のスタッフが子どもたちの安全に目を配っています

リバーサイドしろきた(大阪市都島区) ヤシの木保育園

SHOP DATA

★大阪市都島区毛馬町2-11リバーサイドしろきた35-10 ☎06-6926-1515 ☺月曜～金曜7:00～18:00(延長時間18:00～19:00) ♀定員12人 Ⓞ土曜・日曜・祝日 ㊦JR「大阪」駅から大阪シティバス約15分「毛馬町二丁目」下車徒歩約2分